



学問の神様「亀戸天神社」と武道・スポーツの神様「香取神社」を参拝すれば、あなたも文武両道に秀でた人材に!?
 間近にそびえ立つ東京スカイツリー®を眺めながらめぐります。

亀戸文武ご利益コース

JR亀戸駅は
 北緯35度41分50.5秒
 東経139度49分35.37秒
 でござる。

距離 約4km
 目安所要時間 約120分



- 江東区文化観光ガイド
 ~区内のまちあるきガイドサービス~
 江東区文化観光ガイド事務局 ☎03-6458-7410
 受付時間：9時~17時(土・日・祝日・年末年始を除く)
- 深川東京モダン館
 ~江東区の観光・まちあるき案内所~
 住所：江東区門前仲町1-19-15 ☎03-5639-1776
 開館時間：10時~18時(金・土は19時まで)
 休館日：月曜(祝日の場合翌営業日)及び年末年始

R5年9月よりおひとり200円頂戴いたします。

①亀戸香取勝運(かちうん)商店街

香取神社の参道にある長さ200mほどのコンパクトな商店街。昭和30年代のレトロな町並みをイメージして、魅力ある歩行者空間、歴史を感じさせる店舗空間、観光的な魅力を持った商品サービスを備えた商店街として一新しました。

②香取神社

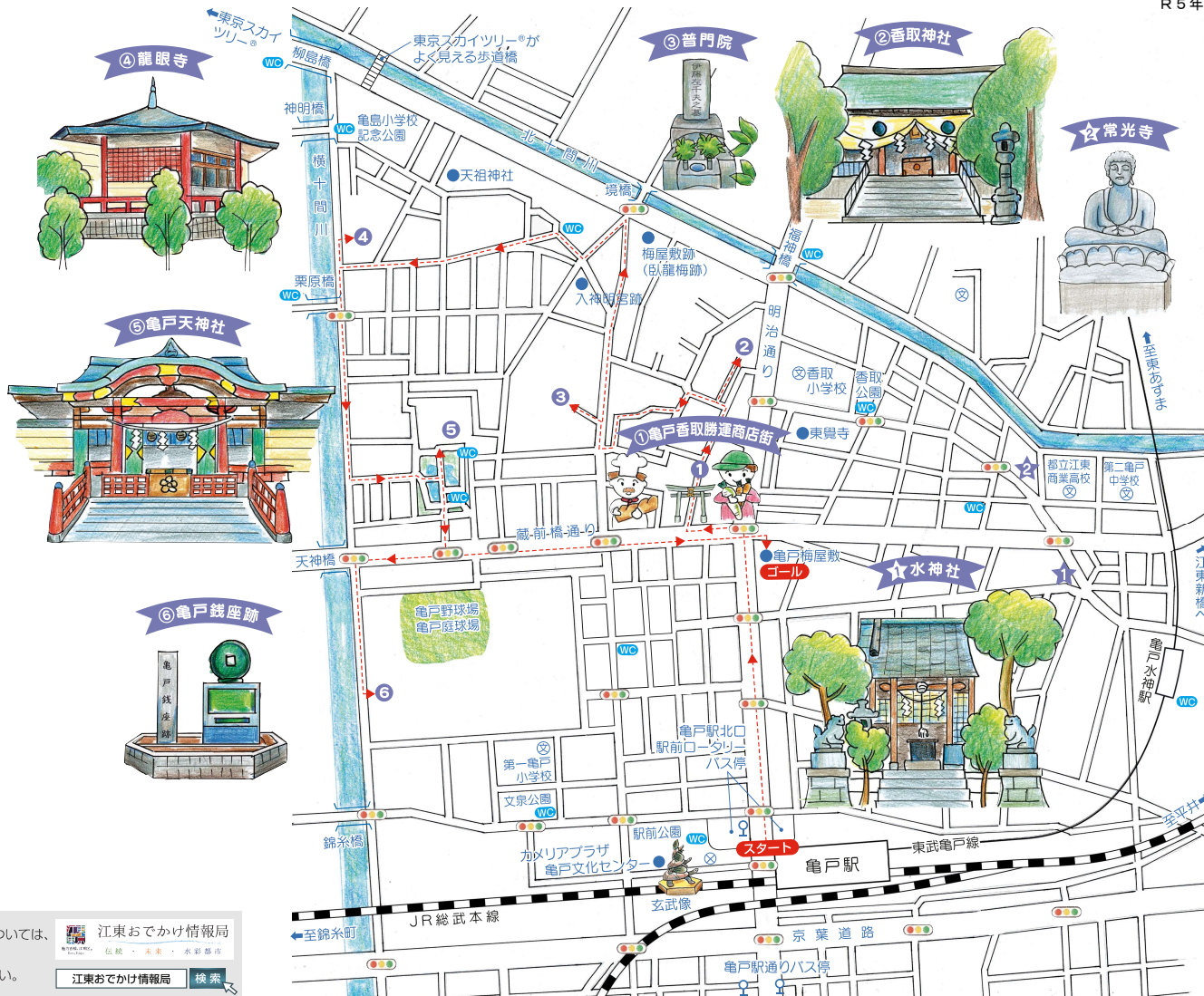
天智天皇4年(665)の建立と伝えられる区内で最も古い神社。当時この地に中臣鎌足が訪れた時、香取大神を招き太刀一振を納めて旅の無事を祈願したのがおこりといわれ、江戸古跡十二社の一つです。境内には「亀戸大根の碑」や「亀ヶ井」という井戸があります。毎年4月3~5日の植木市は元祖といわれ、5月5日の勝矢祭では武者行列など、古式ゆかしき行事が行われます。

③普門院

大永2年(1522)創立。元和年間(1615~24)に現在地に移転してきました。境内には小説「野菊の墓」で有名な明治後期の歌人で小説家の伊藤左千夫の墓や横綱・秀ノ山雷五郎の墓があります。

④龍眼寺(りゅうげんじ)

応永2年(1395)創立。江戸の頃、住職が諸国から百種以上の萩を集め境内に植えてから、萩寺と呼ばれ江戸の名所となり、多くの文人墨客の来遊するところとなりました。境内には芭蕉の句碑、落合直文の歌碑があります。



⑤亀戸天神社

寛文2年(1662)福岡太宰府天満宮の神職大鳥居信祐が神木飛梅の木で菅原道真公の像を造り記ったのが創建といわれ、学問の神様として信仰を集めました。道真公にちなんだ筆塚や歌碑などの有名な碑が数多く残され、藤の美しさは、広重の「名所江戸百景」で有名です。4月下旬から5月初めに心字池の周りいっぱい咲き誇る藤の花は都内随一で、新東京百景の一つにもなっています。毎年1月24・25日には「うそ替え神事」が行われます。

⑥亀戸銭座跡

江戸時代初期の寛文8年(1668)から中期の安永2年(1773)頃までここで「寛永通宝」が鑄造されました。寛文頃の鑄造銭の背に「文」の字があることから、「文銭」といわれています。明和5年(1768)に造られた真鍮銭には21本波模様があるので「波銭」と呼ばれています。

★水神社

享祿年間(1528~32)の創建と推定されています。水田を開墾し、水害から免れるために、大和国吉野の「丹生川上神社」から勧請した水神を堤上に祀りました。江戸時代からこの辺りは「水神森」と呼ばれてきました。祭神は水を司る女神。祭神は「弥都波能売神(みずはのめのかみ)」。

★常光寺

天平9年(737)の創立とされる。奈良の大仏建立に尽力した行基によるとされています。江戸中期に盛んに行われた「江戸六阿弥陀仏詣」の第六番霊場になっていました。「江戸六阿弥陀仏詣」は女性に人気があり、春秋の彼岸頃に欠かせない郊外散歩がかねた信仰行事でした。

江東区の観光情報やアクセス方法については、江東区観光協会の公式Webサイト「江東おでかけ情報局」をご覧ください。

